



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)7月5日号 No.1896

## 目次

■ 月別データで見る2022年1～5月の日ロ貿易	1
■ 統計速報	8
2022年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績	8
■ トピックス	9
東電設計がモンゴルで系統設備へコンサル	9
G7がロシアの金禁輸へ	9
米国格付け大手がロシア国債をデフォルトとみなす	9
サハリン2権益が不透明に	10
三菱商事と三井物産株価が急落	10
ロシアの建設会社が団地の販売を開始	10
石油価格上限設定につきロシアが日本牽制	11
萩生田経産相がサハリン2の説明を要求	11
ロシア産金の禁輸を閣議了解	11

## 月別データで見る2022年1～5月の日ロ貿易

### はじめに

2022年2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻とその後には米欧日等の“西側諸国”によって発動された大規模な対ロ制裁は、ロシアを巡るビジネス環境を激変させた。こうした環境変化は、日本とロシアの間の貿易にも当然ながら甚大な影響を及ぼしている。本号では、6月5日号(No.1893)に続いて、月別のデータで最新の5月の実績を含めた2022年1～5月の日ロ貿易の状況を紹介する。

2022年1～5月の日ロ貿易の特徴を一言でいえば、輸出の急減と輸入の激増である。2022年1～5月にはロシアへの輸出は前年同期比で30.1%減少し、逆に輸入は65.5%増加した。さらに、ウクライナ侵攻の影響が現れた3月以降の3カ月間(2022年3～5月)に限ってみると、ロシアへの輸出は前年同期比56.8%減、輸入は53.2%増を記録した。2009年以来、日ロ貿易は入超が続いている。今後、夏以降の石油や石炭、LNGの輸入動向次第ではあるが、現在の状況が年末まで続けば、日ロ貿易では輸出入の極端なアンバランスが生じ、記録的な入超を記録するかもしれない。

以下では、5月までの輸出入の動向についてやや詳しくみていくこととしたい。